

Photo Album

生野峠北 南但馬朝来 標高314m 虎臥山(古城山) 山上 日本一の山城
国史跡「竹田城跡」 ミニハイク 2025.6.20.



標高314m 虎臥山 山上 日本一の山城 国史跡「竹田城城郭跡」ミニハイク



歴史

嘉吉元年（1441）、嘉吉の乱勃発後、山名氏と赤松氏の間に深刻な対立が生じていました。竹田城はこの時、赤松氏に対する山名氏方の最前線基地のひとつとして築城されました。以後、太田垣氏7代にわたり城主となりますが、天正5年（1577）、羽柴（豊臣）秀吉の但馬攻めにより、羽柴秀長が城主となりました。これ以降、竹田城は織豊方の拠点城郭として機能しました。

天正8年（1580）、羽柴秀長は出石有子山城に入り、その後、竹田城は秀長の属将桑山重晴に預けられました。さらに、天正13年（1585）、桑山重晴が紀伊和歌山城代に転じると、赤松広秀が城主となりました。

全国屈指の山城遺構

国史跡 竹田城跡

遺構

竹田城は、播磨・丹波・但馬の交通上の要地に築城されました。築城当初の姿は不明な点が多いが、石垣遺構周辺に存在する曲輪から判断しますと、現在の本丸・天守台の存在する山頂部から三方に延びる尾根上に曲輪を連続的に配置し、堀切や竪堀で防御性を高めていたものと思われます。

一方、織豊期以降の竹田城は、最高所の天守台（標高353m）をほぼ中心に置く石垣城郭となり、本丸以下南方には、南二の丸、南千疊が、北方には、一の丸、三の丸、北千疊を築いています。さらに、天守台の北西部には、花屋敷と称する曲輪があります。ここは、主郭の中でも掘り手の位置にあたるため、南北には、向かい合った石塁を築き、防御性を高めています。これらの石垣遺構周辺には、多くの石取場が確認されています。大堅堀や登り石垣なども確認され、倭城の築城形態に倣った作りとなっています。なお、竹田城の規模は、南北約400m、東西約100mを測り、今もなお当時の威容を誇っています。



竹田城関係年表

年号	西暦	記 事
永享3	1431	山名持豊、竹田城構築に着手する(口碑)
嘉吉3	1443	竹田城完成する 山名持豊、初代城主として太田垣光景を配すという(口碑) ※太田垣城朝が初代城主とする説もある
寛正6	1465	太田垣景近、第2代竹田城主となる
文明11	1479	太田垣宗朝、第3代竹田城主となる
延徳4	1492	太田垣俊朝、第4代竹田城主となる
大永1	1521	太田垣宗孝、第5代竹田城主となる
天文7	1538	太田垣朝延、第6代竹田城主となる
永禄12	1569	木下藤吉郎秀吉、但馬侵攻する 生野郡山から此隅山城まで10日間18城を陥落させる (「益田家書」)
・13	1570	太田垣輝延、第7代竹田城主となる
天正5	1577	羽柴秀吉、播磨を平定したのち、小一郎秀長をもって但馬を侵攻する
・6	1578	秀吉、再び小一郎秀長を竹田城に入れる(「信長公記」) 小一郎秀長、秀吉の三木城攻めに加わる
・8	1580	秀吉、但馬を攻撃する(この時点で、太田垣の竹田城は終わる) 桑山修理太夫重晴、竹田城主となる。所領10,000石(「藩翰譜」)
・13	1585	重晴、和歌山城代として移封される。赤松広秀、竹田城主となる 所領22,000石
慶長5	1600	関ヶ原の役、広秀、西軍に属し丹後田辺城を攻める 西軍敗戦後、鳥取城攻めに加わるが、大火の責任を問われ 鳥取・真教寺で自刃する。竹田城、廃城となる
元和1	1615	生野代官所支配下となる
明治1	1868	久美浜・生野(明治2)・豊岡県(明治4)に属する
・9	1876	兵庫県に編入される
昭和14	1939	竹田町役場の所有となる
・18	1943	国史跡に指定される
・31	1956	竹田・和田山・南但各町の合併により 大字竹田(竹田財産区)の所有となる
・46	1971	石垣復元工事に着手する
・52	1977	「竹田城保存管理計画書」を策定する
・55	1980	石垣復元工事を完了する
平成1	1989	映画「天と地と」撮影ロケの現場になる
・18	2006	日本100名城に選定される
・23	2011	映画「あなたへ」撮影ロケの現場になる



歴史の文化が薫る
日本一の山城の城下町
「竹田」へようこそ

居館跡

JR竹田駅裏、寺町背後の段丘平
地は城主の居館跡と推定されて
います。ここは大型遺構として、
各段地帯に築かれた区域となり、山
上の城郭と一体となった位置関係
をもっています。平成18年度から20
年度にかけてこの地点における発掘
調査を実施し、跡に伴う遺構や虎
口石垣を確認しました。いずれも
16世紀後半から17世紀初頭につけ
ての跡跡のものです。

出土した虎口石垣





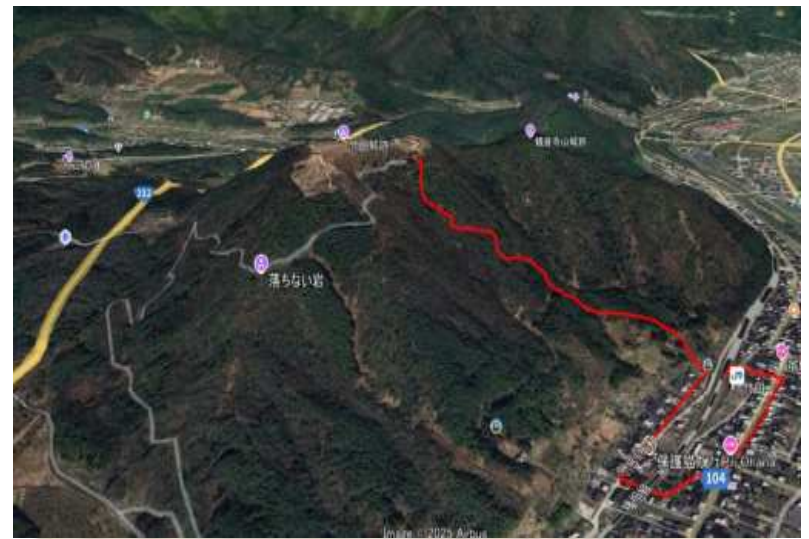
標高314m 虎臥山 山上 日本一の山城 石垣を連ねる 国史跡「竹田城城郭跡」



播但自動車道 朝来ICを出て国道312号を北へ 竹田の街が近づくと道路左手前方に
虎が臥しているように見える虎臥山(古城山)が見える 2025.6.20.

その山上に 日本一の山城と言われる幾つもの石垣を連ねる竹田城址がくっきりと。

竹田城址と反対側 東の与付土の里で合宿中の孫の迎えまで、家内と判れて、久しぶりに竹田
駅から山上の竹田城址へ登山道を登る算段。快晴で暑いが何とかなるだろう。



山城の脚〜竹田城跡間は狭路一般車両の乗り入れが禁止
竹田城跡へは「天空バス」で

竹田城跡バス停

摩訶不思議道(トンネル)

大手門

本丸 竹田城跡

竹田城跡南面の瓦礫

竹田城跡北千景跡

城址入口

竹田城跡観覧料受付給
見学入口

城址出口

見学出口

竹田城跡下段

竹田城跡東側道路
(一般車両通行禁止)

落ちない岩

竹田城跡東側道路
竹田城跡へ

明楽登山道

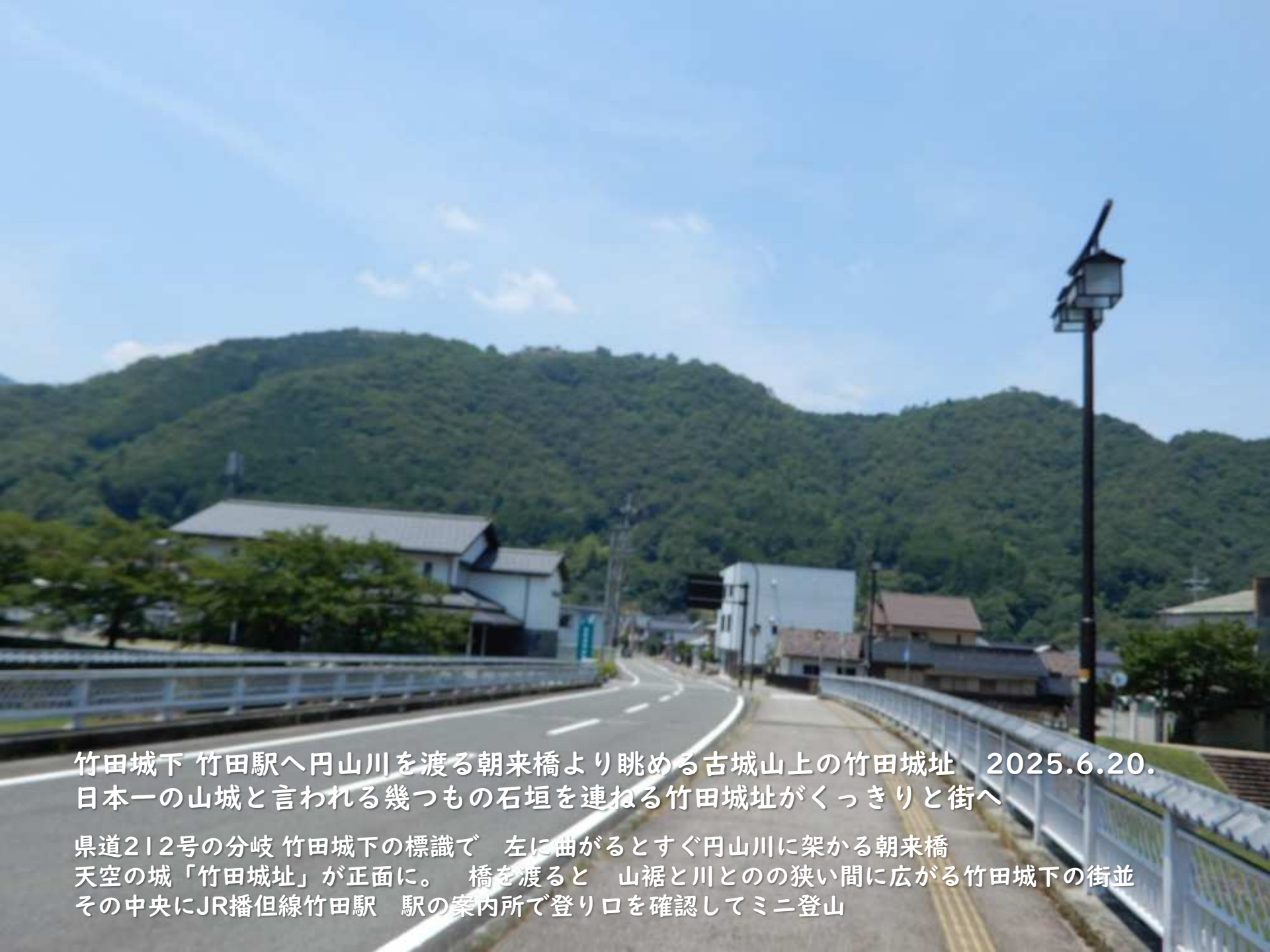
今回は時間の制約があり、駅前から直登登山道で山上竹田城址に登り、山上から6月田植の済んだ青田の広がる田園のphotoを撮るのと時間があれば、記憶の薄れている竹田駅前の竹田城下を歩いてみたいと時間との競争で山上へ 2025.6.20.



舗装車道/竹田城址管理道路

路線バス・タクシーを使えば山上城址まで登れるが、
一般車はこの道を使えないようだ
竹田駅前など街や山麓に一般駐車場があり、
路線バス・タクシーで山上へ行けるようルート整備
されている。

予定通り10時過ぎに竹田駅に着いたので、家内は街でwaiting。
私は午後1時までに山を下る約束をして、記憶が薄れている竹田駅から
城山山腹を登る直登の登山道を登ことに。階段道が続くが40分ほどで
山上へ上がれると案内所で確認して、一番距離の短い駅裏登山道を登る
予定。 竹田駅で家内と別行動 10:15 出発 2025.10.20.



竹田城下 竹田駅へ円山川を渡る朝来橋より眺める古城山上の竹田城址 2025.6.20.
日本一の山城と言われる幾つもの石垣を連ねる竹田城址がくっきりと街へ

県道212号の分岐 竹田城下の標識で 左に曲がるとすぐ円山川に架かる朝来橋
天空の城「竹田城址」が正面に。 橋を渡ると 山裾と川との狭い間に広がる竹田城下の街並
その中央にJR播但線竹田駅 駅の案内所で登り口を確認してミニ登山



上: 竹田駅正面 駅の向こう側 竹田城下
下: 駅の南側で線路を渡ると古城山の山際

寺町の家並の上に古城山 2025.6.20.
寺町の美しい家並 ここから山上へ登る

竹田城址へミニ登山 MAP 2025.6.20.
竹田駅正面裏竹田城下寺町 駅裏登山道

城山トンネル

△353.4
●●竹田城跡

法樹寺
竹田駅

和田山町竹田

円山川

朝来橋

竹田城下◆

県道212号
至与付止

国道321号線

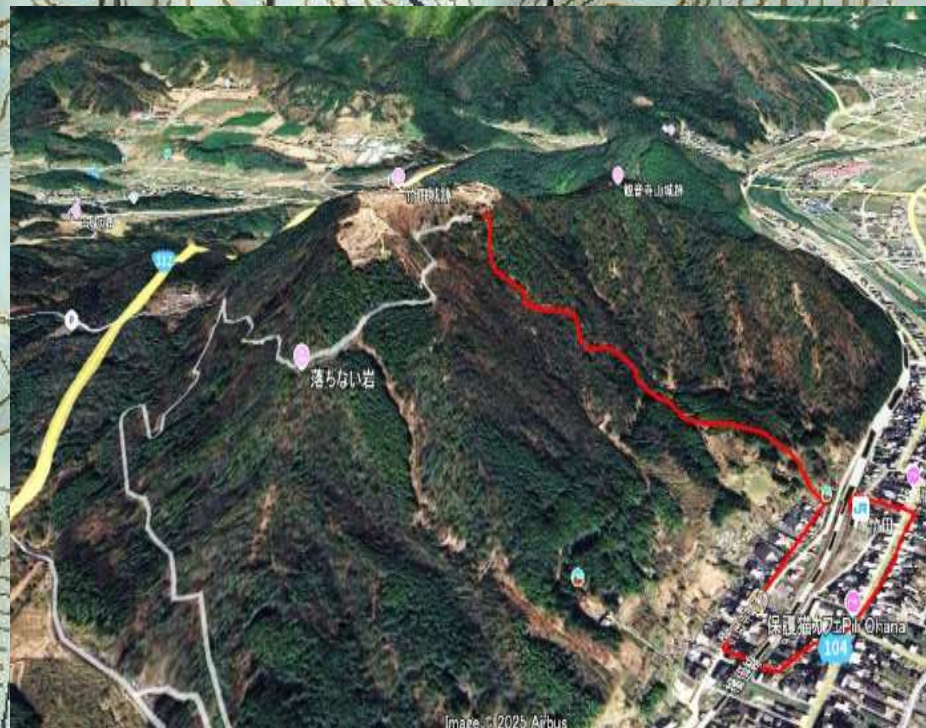


Image © 2025 Arthur



駅の向こう側の山裾 竹田城下寺町の家並の上に古城山が正面に 2025.6.20.
駅の南側で線路を渡り、寺が並ぶ静かな通りを駅裏へ回り込んで、登山口へ





古城山のふもと、4カ寺と表米神社が並ぶ約600メートルの区間は「寺町通り」と呼ばれ、歴史散策路として親しまれています。松並木沿いに白壁の塀や錦鯉が泳ぐ小川 平日の朝 誰一人いない静かな通りが心地よい、 すぐそこ 駅裏の中央が登山口 竹田駅裏 旧竹田城下 寺町通 虎臥公園に出て



竹田駅裏はこんなに静かな通りなのだとびっくり 旧竹田城下寺町通 2025.6.20.



竹田駅裏 旧竹田城下寺町通 2025.6.20.



旧竹田城下寺町通 駅裏登山道入口で 2025.6.20.
快晴の天気 陽ざしは強いが、樹林の中を登ルート緑が楽しめると



旧竹田城下寺町通 駅裏登山道入口で 2025.6.20. 10:19
快晴の天気 陽ざしは強いが、樹林の中を登ルート緑が楽しめると



駅裏登山道の入口は竹田駅のホームのすぐ裏 2025.6.20.
今日は人影のない登山道 ぶらぶらとタイムアップまでぶらぶら歩き



竹田駅裏 旧竹田城下寺町通 駅裏登山道入口で 2025.6.20.

沿面距離

(km)

[m] 標高

0.0 0.1 0.2 0.3 0.4 0.5 0.6 0.7 0.8 0.9 1.0



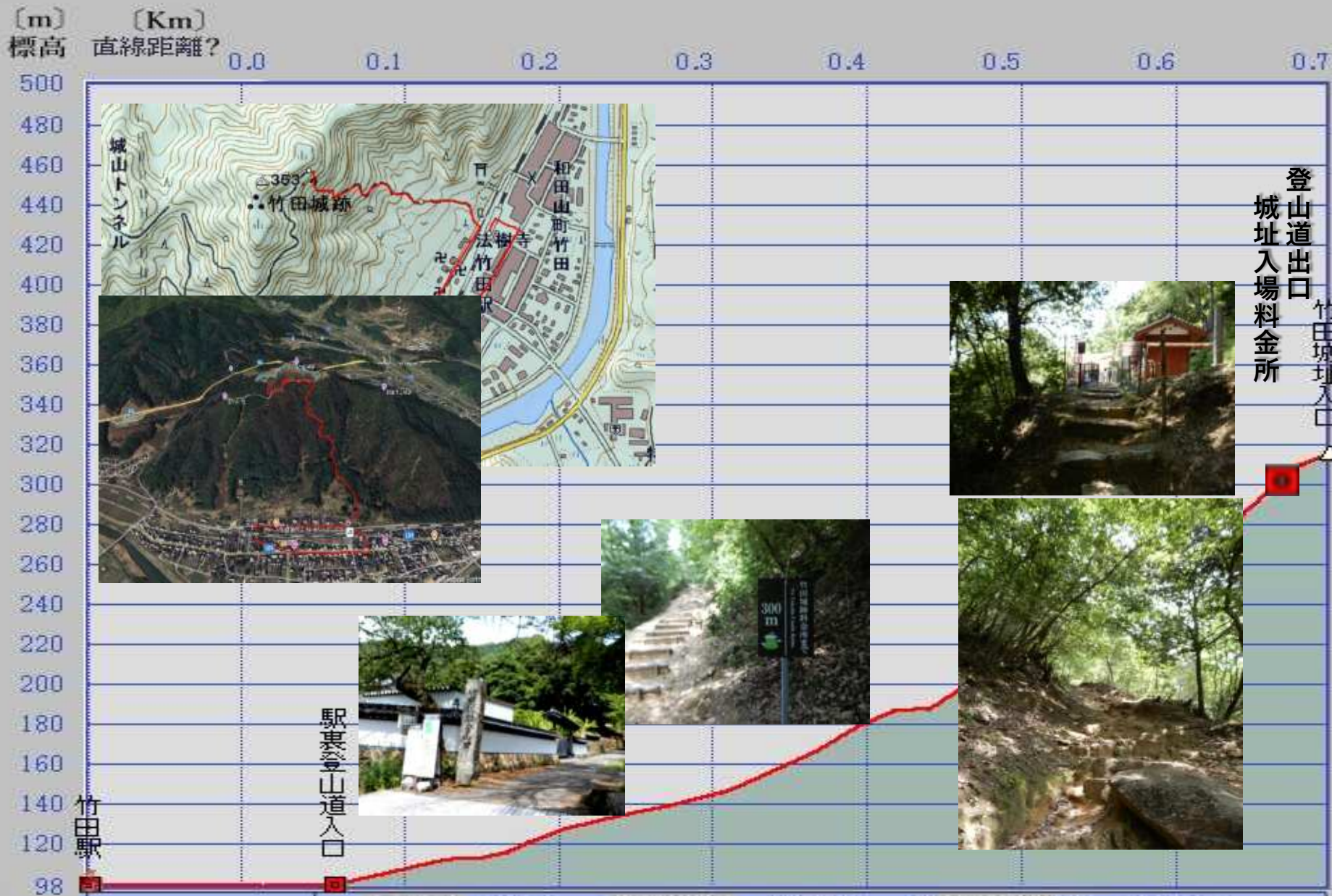
竹田城址入口
登山道出口
城址入場料
金所

駅裏登山道入口
竹田駅

標高差 215.8m 直線距離 0.64 km 沿面距離概算 0.85 km

推定時間 00:34:25 竹田城 駅裏登山道 walk概算

標高差約200m 緑の森の中の山腹を山上までよく整備された直登の階段が続く山道を登る



標高差 215.8m 直線距離 0.64 km 沿面距離概算 0.85 km

推定時間 00:34:25 竹田城 駅裏登山道 walk概算

標高差約200m 緑の森の中の山腹を山上までよく整備された直登階段山道を登る



駅裏登山道入口 からすぐ、古城山に登る階段 山腹の林の中へ 2025.6.20.



駅裏登山道入口 からすぐ、古城山に登る階段 山腹の林の中へ 2025.6.20.



駅裏登山道入口付近の林の中で 樹木の間から東側竹田の街が見え隠れ
2025.6.20



駅裏登山道 全長900m (料金所まで800m)
スタートから100mごとに料金所までの距離案内版が立っています
この地点では あと600mの案内板 林の中を階段道が続きます 2025.6.20.



駅裏登山道 全長900m (料金所まで800m)
料金所まで あと600mの周辺 2025.6.20.





駅裏登山道 全長900m (料金所まで800m) 料金所まであと少し。
休憩場所の小屋が見えています 2025.6.20.

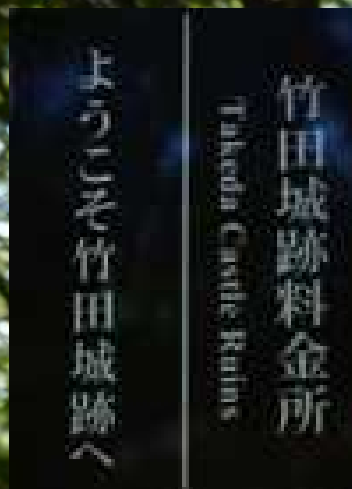




駅裏登山道 全長900m (料金所まで800m) 料金所まであとひと登り。
2025.6.20.



駅裏登山道 全長900m (料金所まで800m)
料金所が見えてきて、竹田城の山上へ 2025.6.20.
きつい階直登ルートでしたが、新緑に包まれた心地よい山道 約30分ほどで到達



竹田城跡料金所

Takeda Castle Ruins

駅裏登山道 全長900m (料金所まで800m)

料金所が見えてきて、竹田城の山上へ 2025.6.20. 10:57

きつい階直登ルートでしたが、新緑に包まれた心地よい山道 約30分ほどで到達

山城の郷～竹田城跡間は狭路一般車両の乗り入れが禁止
竹田城跡へは「天空バス」で

竹田城跡バス停



播但自動車道(トンネル)

312

大手門

本丸
竹田城跡

竹田城 南二の丸跡

竹田城 北千畳跡

城址入口

竹田城跡観覧料受付処
見学入口

竹田城南千畳

城址出口

見学出口

駅裏登山道

竹田城址管理道路
(一般車通行禁止)

落ちない岩

竹田城址管理道路
竹田駅へ

竹田城見学料金所からの「竹田城址」見学ルート図【1】

竹田城址見学路概略 左周り 北千畳跡→三の丸→二の丸→大天守→ 南二の丸
→南千畳 →城址管理道路 (南: 大手門 & 表米神社登山道 北: 城址料金所)

大天守

竹田城跡

竹田城 北千畳跡

竹田城跡観覧料受付処



駅裏登山道

竹田城址管理道路

竹田城 南二の丸跡

南千畳

竹田城見学料金所からの「竹田城址」見学ルート図【2】

至 大手門
・ 表米神社登山道

A photograph of a steep, green hillside covered in dense trees and foliage. A stone staircase is visible on the right side, leading up the hill. The scene is brightly lit, suggesting a sunny day. The text is overlaid at the bottom of the image.

竹田城址見学順路通り、北千畳から本丸 南千畳と巡る
北千畳への階段で 2025.6.20.



竹田城址見学順路、北千畳の入口 空が開け、城址の石垣が見えています
北千畳への階段で 2025.6.20.



竹田城址見学順路通り、北千畳から本丸 南千畳と巡る
北千畳への階段で 2025.6.20.



竹田城址 北千畳 古城山山上に広がる城址一番北の北千畳 2025.6.20. 11:04

石垣の縁に立てば南東側から北へぐるりと眼下に広がる大展望

よく整備された城跡 大きな樹木が緑の枝を広げ、暑さを和らげてくれる

北千畳の東縁 眼下にみだりから北へ流れる円山川沿いの竹田の街

その向こう右手には立雲峡・朝来山 左手には和歌山盆地が広がっている

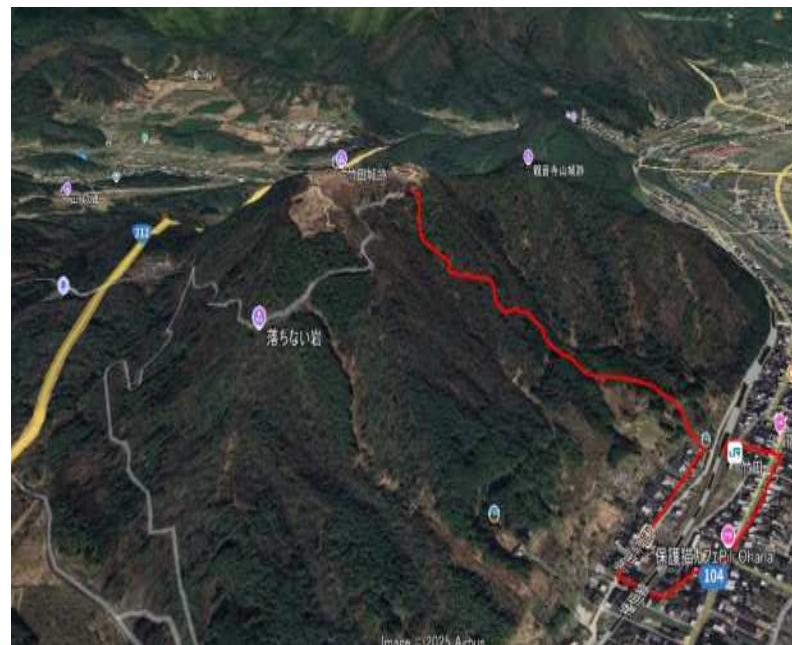
南2の丸
南千畳 本丸 2・3の丸 北千畳



標高314m 虎臥山 山上 日本一の山城
石垣を連ねる 国史跡「竹田城城郭跡」

竹田城跡見学順路

城内は一方通行です。
番号の順にお進みください。



古城山上 竹田城址見学順路図 現在地 北千畳



竹田城址 北千畳 古城山山上に広がる城址一番北の北千畳 2025.6.20.
だれもいない北千畳 四方を眺めながらゆったりと昼飯休憩
平日といえども大勢の観光客で混雑を予想していましたが、人影はチラホラ ラッキーでした



竹田城址 北千畳 古城山山上に広がる城址一番北の北千畳 2025.6.20.



竹田城址 北千畳 東端から眺める朝来山 2025.6.20.



遠く但馬と丹波の国境が霞む竹田城址 北千畳 東端からの南東正面の眺望
2025.6.20.

左;金梨山 右:朝来山を背後に流れる円山川 その眼下に広がる竹田城下
山合を与付土の里から丹場へ抜ける道筋が見えている



竹田城址 北千畳 東端からの南側の眺望2025.6.20.

朝来山の山裾を南の生野峠から流れ下る円山川に沿って南北に広がる朝来の街と田園地帯
石垣の縁に立てれば、もっと朝来の街の広がりが見えるのですが・・・・・・

もう遠い昔ですが、30代に 揚水発電所の建設のペンストック見学で出かけた多々良木・黒川ダム
が眠る生野峠の山並が遠く霞んで見える。

思い返せば随分昔 この播磨/但馬を結ぶ国道312号線の生野越 原チャリでよく通いました。



北千畳の石垣東側縁から 東から南東方向の展望



南右手 生野峠から流れてきた円山川の川筋に沿って 見えないが眼下に広がる竹田城下町
正面 与付土の谷の右手に立雲峡 その左背後に栗鹿山見えている



北千畳の石垣北側縁から 北から北東方向の遠望 和田山の街が見えている



四方を山に囲まれた北近畿の交通の要衝 和田山盆地の街と田園が見えている
右手奥には 和田山の茶すり山古墳も見えている



竹田城址 北千畳 の石垣の縁を北側へ 北千畳北側の縁からの眺望 2025.6.20.

竹田城址古城山をトンネルで北に抜けた播但有料道路に架かる美しい橋 虎臥大橋

北へ橋を渡った播但有料道路は弧を描いて西に転じて和田山の街の南端 和田山JCTで
北近畿自動車道と交差し、さらに北へ和田山の街から養父へ
また、古城山の北の山裾を東から西へ虎臥大橋をくぐる道は
竹田の街中や竹田駅から バスや一般車でこの古城山・竹田城跡へ登ぼる
北側の拠点 山城の里・竹田城跡バス停・駐車場へつながる観光道路
車窓から眺める連続アーチの橋脚の眺めも素晴らしい

妙見山?

室尾山

6月 青田が広がる 南但馬 和田山盆地の里景色 朝来 竹田城より 2025.6.20.
北千畳から北 遠望：周囲を山並みに囲まれた南但馬の交通の要衝 和田山。
生野から発した円山川が田植を終えた美しい田園地帯を北の豊岡へ流れ下り、
川に沿って JR 播但線と国道321号線が北へ盆地の中央を抜け、
手前に播但自動車道 奥に北近畿自動車道が田園の中を横切ってゆくのが見える
背に立ち並ぶ但馬 養父・朝来の山並みのシルエットが盆地の青田を引き立てる



6月 青田が広がる 南但馬 和田山盆地の里景色 朝来 竹田城より 2025.6.20.
北千畳から北 遠望：周囲を山並みに囲まれた南但馬の交通の要衝 和田山。



北千畳から北東部に目を凝らすと北近畿自動車道脇に、和田山の象徴5世紀 但馬の大王の墓といわれる「茶すり山古墳」が見えている 2025.6.20.

背後には兵庫と京都府県境の山並 こちらは円山川水系 向こうは由良川水系丹波/但馬の国境。

近畿自動車道は和田山から遠坂トンネルを抜けて篠山へ向かう。

又、古墳の上からも「竹田城」が見えるので、当たり前なんですが、うれしい

竹田城跡見学順路

城内は一方通行です。
番号の順にお進みください。



北千畳から西へ 城郭跡の中心部へ 立ち並ぶ石垣群が美しい 2025.10.20.
城郭の中心 一番高所 本丸そして南端の南千畳を巡る



千疊から西へ 城郭跡の中心部 城郭の中心 一番高所 本丸へ 2025.10.20.
それぞれの城郭は少しずつ場所と高さをずらして作られた城郭縄張り、城郭建築の実用性
と共にその美しさをも生み出している。 二の丸・三の丸付近で



場所ばかりでなく、高さが異なるので、眺める方向が同じでも景色が次々と変化
まるで迷路歩きの感覚も ちょうど 料金所の上のあたり 3の丸へ登ってきました

A panoramic view of a valley with a town and mountains. The town is nestled in a valley, surrounded by lush green mountains. A road runs through the town, and a river flows nearby. The view is taken from a high vantage point, looking down at the town and across the valley.

城郭:3の丸に入って東の縁に立つと 眼下に竹田の城下が一望
眼下に広がる竹田城下の家並 一番直下に竹田駅が見える
中央を南北に流れる円山川沿いの国道312号線
右手背後に立雲峡・朝来山山間を与付土里へ抜ける県道212
その十字路が「竹田城下」の交差点 朝来橋を渡ると竹田駅である
約30分で登った山上から眺める竹田の街です



竹田城3ノ丸から見下ろす竹田城下 2025.6.20.
標高差約200m 駅裏登山道出发点竹田駅が直下に



竹田城3ノ丸から 竹田城本丸への見学路で 2025.6.20.



竹田城3の丸から 竹田城本丸への見学路で 見学路から南の景色

2025.6.20.



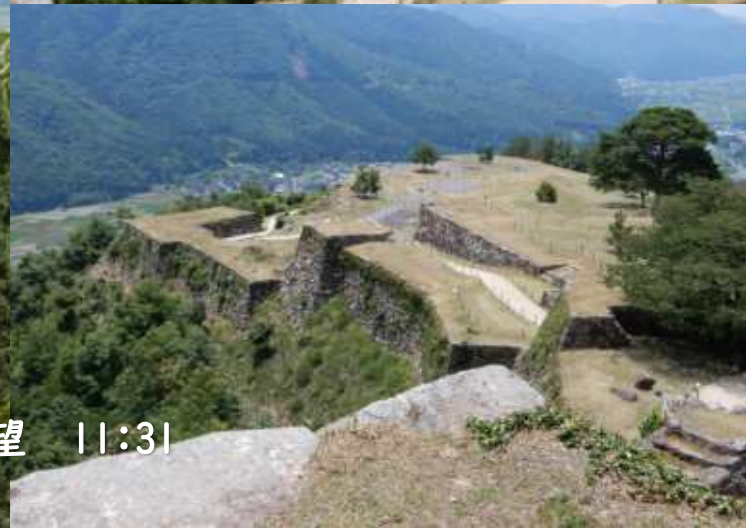
見学路東側 手前の竹田の城下と背後の朝来山とその山腹の立雲峽がくっきりと
2025.6.20. 竹田城 3の丸からの眺め 何度も眺める美しい竹田の景色です



2025.6.20. 竹田城 本丸へ右側から登る どんな景色が見られるのか・・・



2025.6.20. 竹田城 本丸へ右側から登る どんな景色が見られるのか・・・



2025.6.20. 竹田城 本丸から眺める360度の展望 11:31



2025.6.20. 古城山山上 南竹田城 本丸から眺める360度の展望
二ノ丸・三の丸から南千畳への石垣群



古城山山上 竹田城 本丸から眺める南側の展望2025.6.20.

古城山の南側 やつと撮れた6月青田が広がる南但馬 朝来の田園地帯

Photo 右端 眼下山裾に この古城山のトンネルに入る手前 播但自動車道 朝来ICが見える



もうタイムアップ 本丸から南東側の南千畳へ出て下山路へ 2025.6.20. 11:38
本丸から元の見学路に降りて、本丸の右側を回り込んで南千畳へ



もうタイムアップ 見学路に戻って 本丸から南東側の南千畳へ出て下山路へ 2025.6.20. 11:38
南二の丸付近で



もうタイムアップ 本丸から南東側の南千畳へ出て下山路へ 2025.6.20. 11:38
見学路に戻って 南二の丸付近から南千畳南端へ



古城山山上 竹田城南側の展望

南千畳より 2025.6.20.

古城山の南側 6月青田が広がる南但馬 朝来の田園地帯

Photo 右端 眼下山裾に この古城山のトンネルに入る手前 播但自動車道 朝来ICが見える





古城山山上 竹田城 南千畳からの降り口から本丸を振り返る 2025.6.20.



古城山山上 竹田城 南千畳からの降り口から眼下に見える城下 2025.6.20.

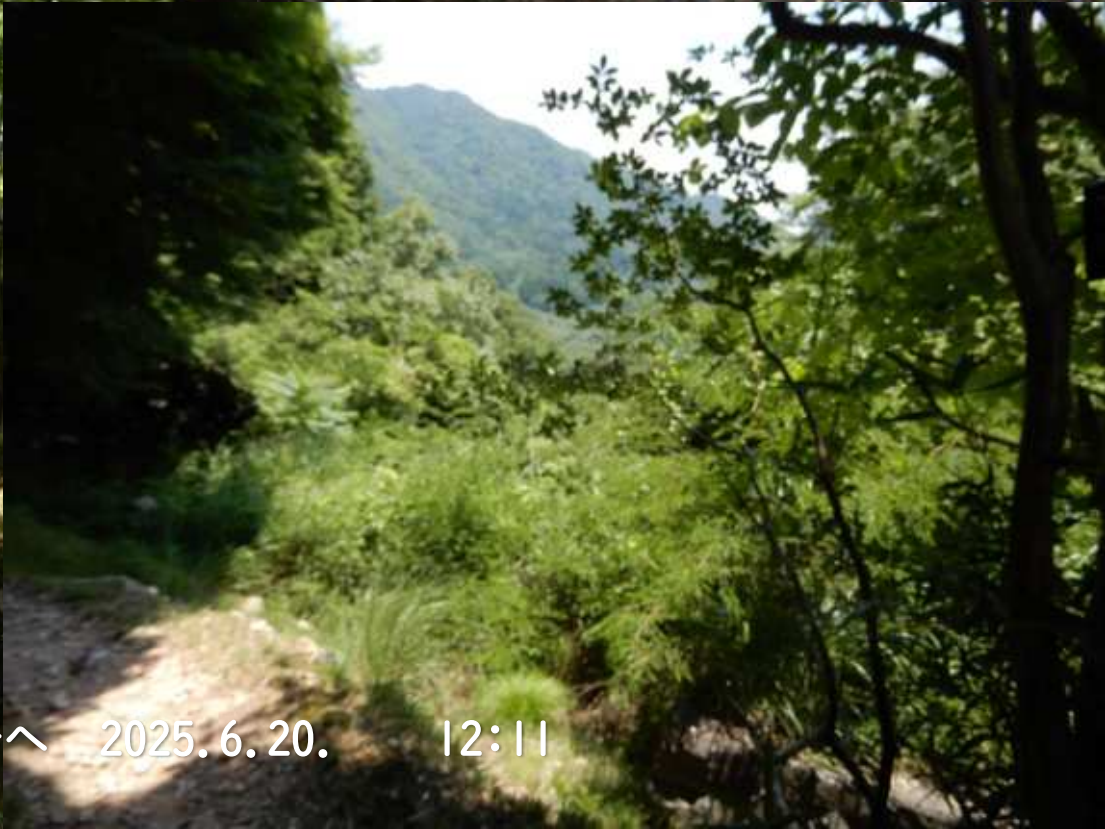


Google Earth Photoより色彩色付け加工

竹田城址からは急なジグザク山道、よく整備された階段道を10分ほどで管理道路に出る
ここから右へ行けば 表米神社登山道 & 竹田城バス停・山城の郷 左は入口の料金所
今日は時間に余裕がないので、元の料金所まで戻って下山することに。少し坂道を登り返す

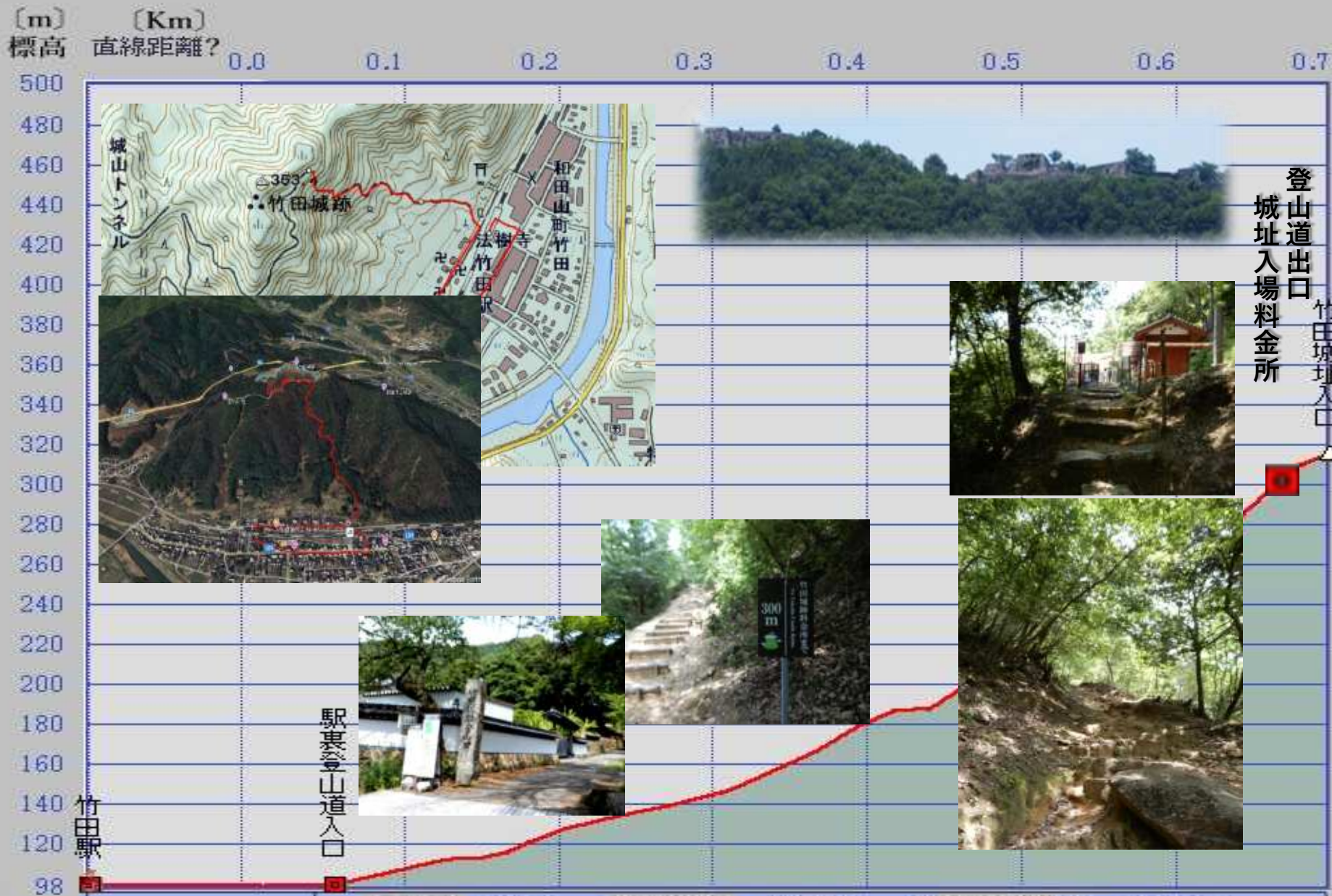


元の料金所まで戻って もと来た駅裏登山道を下る 2025.6.20. 11:52



もと来た駅裏登山道の入口の柵へ 2025.6.20. 12:11





標高差 215.8m 直線距離 0.64 km 沿面距離概算 0.85 km

推定時間 00:34:25 竹田城 駅裏登山道 walk概算

標高差約200m 緑の森の中の山腹を山上までよく整備された直登階段山道を登る



生野峠北 南但馬朝来 標高314m 虎臥山(古城山) 山上 日本一の山城
国史跡「竹田城跡」 ミニハイク 2025.6.20.



暑さには閉口しましたが、観光客のいない平日 緑一杯の静かな城下に山上の城址も独り占め
ゆったりと巡った竹田城址と眼下に広がる但馬の里景色 晴れた山上には清々しい6月の風も
うれしい竹田城ミニハイクになりました 2025.6.20. 竹田城下に戻って 朝来橋へ 12:20



竹田の街を北に流れ下る円山川 2025.6.20.





古城山に対峙する東側から眺める竹田城 2025.6.20.

歴史

嘉吉元年（1441）、嘉吉の乱勃発後、山名氏と赤松氏の間に深刻な対立が生じていました。竹田城はこの時、赤松氏に対する山名氏方の最前線基地のひとつとして築城されました。以後、太田垣氏7代にわたり城主となりますが、天正5年（1577）、羽柴（豊臣）秀吉の但馬攻めにより、羽柴秀長が城主となりました。これ以降、竹田城は織豊方の拠点城郭として機能しました。

天正8年（1580）、羽柴秀長は出石有子山城に入り、その後、竹田城は秀長の属将桑山重晴に預けられました。さらに、天正13年（1585）、桑山重晴が紀伊和歌山城代に転じると、赤松広秀が城主となりました。

全国屈指の山城遺構

国史跡 竹田城跡

遺構

竹田城は、播磨・丹波・但馬の交通上の要地に築城されました。築城当初の姿は不明な点が多いが、石垣遺構周辺に存在する曲輪から判断しますと、現在の本丸・天守台の存在する山頂部から三方に延びる尾根上に曲輪を連続的に配置し、堀切や竪堀で防御性を高めていたものと思われます。

一方、織豊期以降の竹田城は、最高所の天守台（標高353m）をほぼ中心に置く石垣城郭となり、本丸以下南方には、南二の丸、南千疊が、北方には、一の丸、三の丸、北千疊を築いています。さらに、天守台の北西部には、花屋敷と称する曲輪があります。ここは、主郭の中でも掘り手の位置にあたるため、南北には、向かい合った石塁を築き、防御性を高めています。これらの石垣遺構周辺には、多くの石取場が確認されています。大堅堀や登り石垣なども確認され、倭城の築城形態に倣った作りとなっています。なお、竹田城の規模は、南北約400m、東西約100mを測り、今もなお当時の威容を誇っています。



竹田城関係年表

年号	西暦	記 事
永享3	1431	山名持豊、竹田城構築に着手する(口碑)
嘉吉3	1443	竹田城完成する 山名持豊、初代城主として太田垣光景を配すという(口碑) ※太田垣城朝が初代城主とする説もある
寛正6	1465	太田垣景近、第2代竹田城主となる
文明11	1479	太田垣宗朝、第3代竹田城主となる
延徳4	1492	太田垣俊朝、第4代竹田城主となる
大永1	1521	太田垣宗孝、第5代竹田城主となる
天文7	1538	太田垣朝延、第6代竹田城主となる
永禄12	1569	木下藤吉郎秀吉、但馬侵攻する 生野郡山から此隅山城まで10日間18城を陥落させる (「益田家書」)
・13	1570	太田垣輝延、第7代竹田城主となる
天正5	1577	羽柴秀吉、播磨を平定したのち、小一郎秀長をもって但馬を侵攻する
・6	1578	秀吉、再び小一郎秀長を竹田城に入れる(「信長公記」) 小一郎秀長、秀吉の三木城攻めに加わる
・8	1580	秀吉、但馬を攻撃する(この時点で、太田垣の竹田城は終わる) 桑山修理太夫重晴、竹田城主となる。所領10,000石(「藩翰譜」)
・13	1585	重晴、和歌山城代として移封される。赤松広秀、竹田城主となる 所領22,000石
慶長5	1600	関ヶ原の役、広秀、西軍に属し丹後田辺城を攻める 西軍敗戦後、鳥取城攻めに加わるが、大火の責任を問われ 鳥取・真教寺で自刃する。竹田城、廃城となる
元和1	1615	生野代官所支配下となる
明治1	1868	久美浜・生野(明治2)・豊岡県(明治4)に属する
・9	1876	兵庫県に編入される
昭和14	1939	竹田町役場の所有となる
・18	1943	国史跡に指定される
・31	1956	竹田・和田山・南但各町の合併により 大字竹田(竹田財産区)の所有となる
・46	1971	石垣復元工事に着手する
・52	1977	「竹田城保存管理計画書」を策定する
・55	1980	石垣復元工事を完了する
平成1	1989	映画「天と地と」撮影ロケの現場になる
・18	2006	日本100名城に選定される
・23	2011	映画「あなたへ」撮影ロケの現場になる



居館跡
JR竹田駅裏、寺町背後の段丘平
地は城主の居館跡と推定されて
います。ここは大型遺構とされ、
各段地帯に築かれた区画となり山
上の城郭と一体となった位置関係
をもっています。平成18年度から20
年度にかけてこの地点における発掘
調査を実施し、跡に伴う遺構や虎
口石垣を確認しました。いずれも
16世紀後半から17世紀初頭につけ
ての跡跡のものです。



出生した虎口石垣

参考 「風来坊2020」 2020年秋に山城の郷駐車場から 竹田城に登った記録

播磨/但馬の境 生野峠の北 南但馬 朝来市竹田 小さい秋をさがして2020秋

天空に浮かぶ竹田城 & 但馬の王墓 茶すり山古墳 2020.9.4.

<https://infokkna.com/ironroad/dock/walk/20walk03.pdf>

■【スライド動画】 小さい秋をさがして2020 天空に浮かぶ竹田城 再訪

<https://www.infokkna.com/ironroad/2020htm/iron16/R0209asagotakeda.mp4>



コロナ禍で
もやもやしていた気分も晴れ晴れと
フレッシュな空気を胸いっぱい
うれしい小さい秋 みつけ

かつて原チャリで駆けまわった但馬。
久し振りに生野峠を越えた北但馬の初秋。
訪ねたい場所は幾つもあり。

生野銀山・1円電車の神子畑明延鉱山・多々良木ダム・生野峠の煎餅屋はまだあるだろうか？

竹田の城も有名に なったし、大陸と大和王権を結ぶ和鉄 の道の中継点和田山の古墳群は数多
くの鉄製品が副葬された但馬の王墓。そ れに神戸牛の故地。次々に行きたいと ころあり。

神戸から播但自動車道を使って約1時 間半。

播磨と但馬を分ける生野峠を北 に越えて 山合いの田園都市「朝来」に入ってまもなく
竹田の街から見上げる 山上に広がる城郭の石垣群。

霧が立ち 込める早朝には雲の中にぽっかり浮かぶ天空の城 久し振りに登りました。
山上の城郭石垣群がこんなにきれいになって、見晴らす郷は実りの秋 日本の原風景

また、一度訪ねたかった古墳時代のロマンを秘めた和鉄の道但馬の王墓 茶すり山古墳。
王墓にふさわしい副葬 品の数々と見晴らす秋の和田山盆地などなど うれしい南但馬walkに



標高314m 虎臥山 山上 日本一の山城 国史跡「竹田城城郭跡」ミニハイク

竹田城山上から眺めたお気に入り
中国山地の山々を背に青田が広がる南但馬の里遠望





竹田城址 北千畳 古城山山上に広がる城址一番北の北千畳 2025.6.20. 11:04

石垣の縁に立てば南東側から北へぐるりと眼下に広がる大展望

よく整備された城跡 大きな樹木が緑の枝を広げ、暑さを和らげてくれる

北千畳の東縁 眼下にみだりから北へ流れる円山川沿いの竹田の街

その向こう右手には立雲峡・朝来山 左手には和歌山盆地が広がっている



竹田城址 北千畳 古城山山上に広がる城址一番北の北千畳 2025.6.20.
だれもいない北千畳 四方を眺めながらゆったりと昼飯休憩
平日といえども大勢の観光客で混雑を予想していましたが、人影はチラホラ ラッキーでした



竹田城址 北千畳 古城山山上に広がる城址一番北の北千畳 2025.6.20.



遠く但馬と丹波の国境が霞む竹田城址 北千畳 東端からの南東正面の眺望
2025.6.20.

左;金梨山 右:朝来山を背後に流れる円山川 その眼下に広がる竹田城下
山合を与付土の里から丹場へ抜ける道筋が見えている



竹田城址 北千畳 東端からの南側の眺望2025.6.20.

朝来山の山裾を南の生野峠から流れ下る円山川に沿って南北に広がる朝来の街と田園地帯
石垣の縁に立てれば、もっと朝来の街の広がりが見えるのですが・・・・

もう遠い昔ですが、30代に 揚水発電所の建設のペンストック見学で出かけた多々良木・黒川ダム
が眠る生野峠の山並が遠く霞んで見える。

思い返せば随分昔 この播磨/但馬を結ぶ国道312号線の生野越 原チャリでよく通いました。



竹田城址 北千畳 の石垣の縁を北側へ 北千畳北側の縁からの眺望 2025.6.20.

竹田城址古城山をトンネルで北に抜けた播但有料道路に架かる美しい橋 虎臥大橋

北へ橋を渡った播但有料道路は弧を描いて西に転じて和田山の街の南端 和田山JCTで
北近畿自動車道と交差し、さらに北へ和田山の街から養父へ
また、古城山の北の山裾を東から西へ虎臥大橋をくぐる道は
竹田の街中や竹田駅から バスや一般車でこの古城山・竹田城跡へ登ぼる
北側の拠点 山城の里・竹田城跡バス停・駐車場へつながる観光道路
車窓から眺める連続アーチの橋脚の眺めも素晴らしい



室尾山

6月 青田が広がる 南但馬 和田山盆地の里景色 朝来 竹田城より 2025.6.20.
北千畳から北 遠望：周囲を山並みに囲まれた南但馬の交通の要衝 和田山、
生野から発した円山川が田植を終えた美しい田園地帯を北の豊岡へ流れ下り、
川に沿って JR 播但線と国道321号線が北へ盆地の中央を抜け、
手前に播但自動車道 奥に北近畿自動車道が田園の中を横切ってゆくのが見える
背に立ち並ぶ但馬 養父・朝来の山並みのシルエットが盆地の青田を引き立てる



6月 青田が広がる 南但馬 和田山盆地の里景色 朝来 竹田城より 2025.6.20.
北千畳から北 遠望：周囲を山並みに囲まれた南但馬の交通の要衝 和田山。



北千畳から北東部に目を凝らすと北近畿自動車道脇に、和田山の象徴5世紀 但馬の大王の墓といわれる「茶すり山古墳」が見えている 2025.6.20.

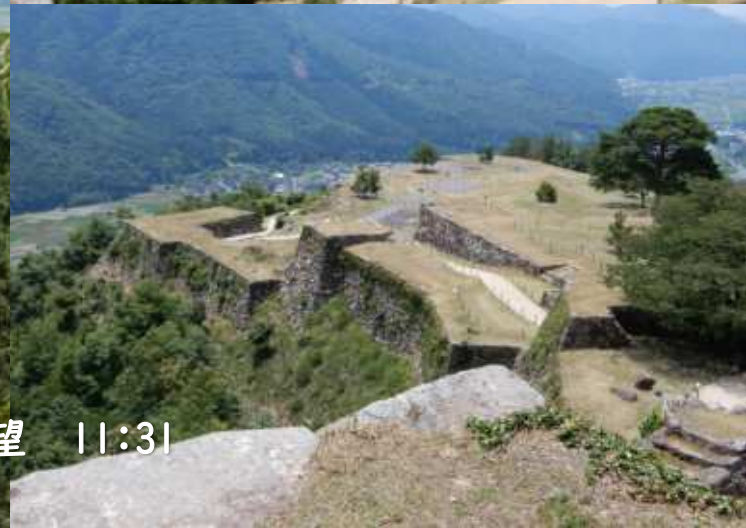
背後には兵庫と京都府県境の山並 こちらは円山川水系 向こうは由良川水系丹波/但馬の国境。
近畿自動車道は和田山から遠坂トンネルを抜けて篠山へ向かう。

又、古墳の上からも「竹田城」が見えるので、当たり前なんですが、うれしい



竹田城3の丸から 竹田城本丸への見学路で 見学路から南の景色

2025.6.20.



2025.6.20. 竹田城 本丸から眺める360度の展望 11:31



2025.6.20. 古城山山上 南竹田城 本丸から眺める360度の展望
二ノ丸・三の丸から南千畳への石垣群



古城山山上 竹田城 本丸から眺める南側の展望2025.6.20.

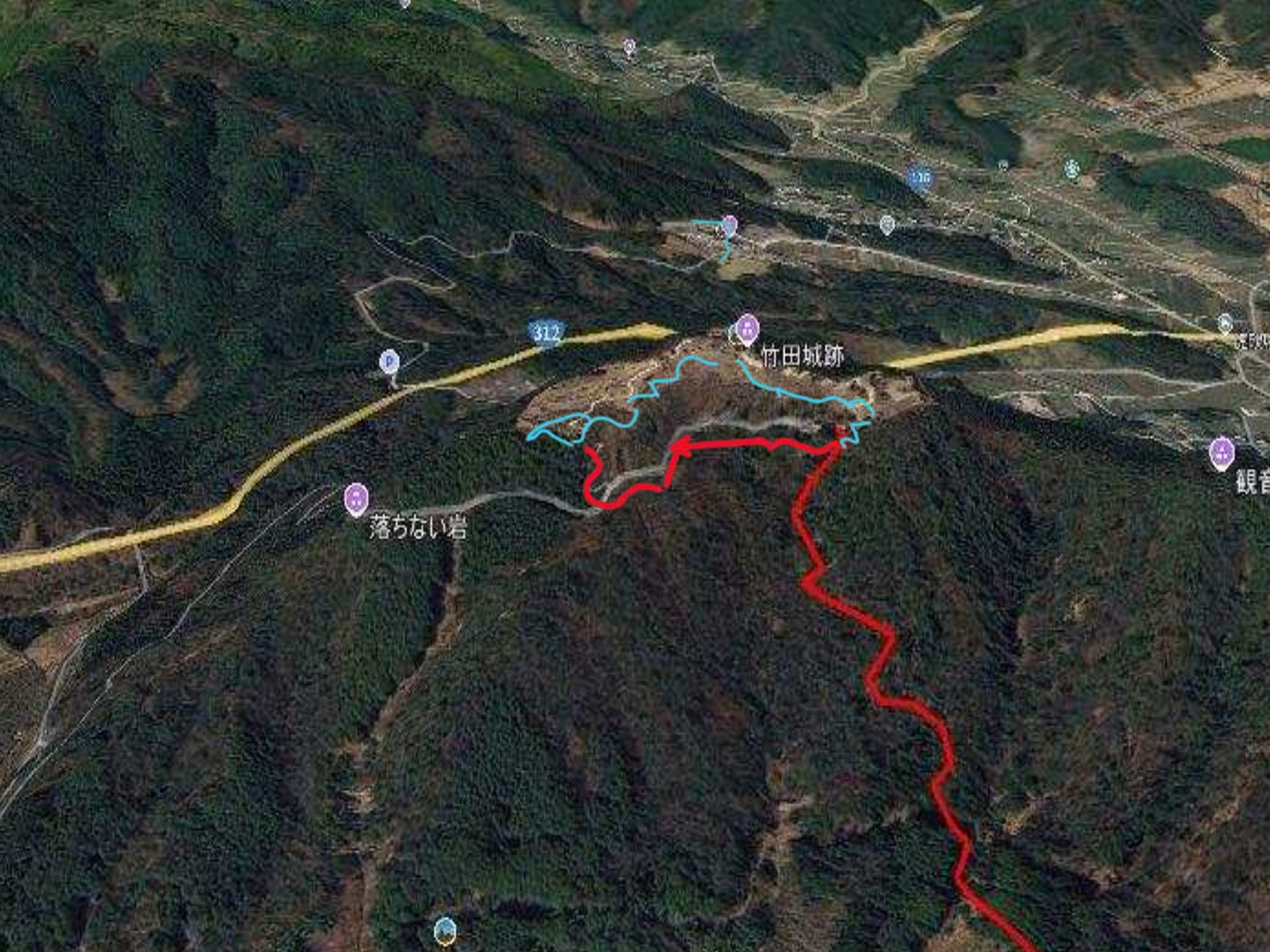
古城山の南側 やつと撮れた6月青田が広がる南但馬 朝来の田園地帯

Photo 右端 眼下山裾に この古城山のトンネルに入る手前 播但自動車道 朝来ICが見える



古城山山上 竹田城 南千畳からの降り口から眼下に見える城下 2025.6.20.





竹田城跡

落ちない岩

観音

生野峠北 南但馬朝来 標高314m 虎臥山(古城山) 山上 日本一の山城
国史跡「竹田城跡」 ミニハイク 2025.6.20.



暑さには閉口しましたが、観光客のいない平日 緑一杯の静かな城下に山上の城址も独り占め
ゆったりと巡った竹田城址と眼下に広がる但馬の里景色 晴れた山上には清々しい6月の風も
うれしい竹田城ミニハイクになりました 2025.6.20. 竹田城下に戻って 朝来橋へ 12:20